

平成28年度
事業計画書



平成28年度事業計画書

～ 目 次 ～

○平成28年度基本方針 … P. 1

○平成28年度事業概要

I. 芸術文化鑑賞事業の開催並びに地域の文化活動の育成等

【1】芸術文化鑑賞事業の開催

- 1. ベガ・ホール事業 … P. 2
- 2. ソリオホール事業 … P. 5
- 3. 宝塚文化創造館事業 … P. 6

【2】地域の芸術文化活動の育成等

- 1. 地域文化活動の発表、交流の場提供事業 … P. 8
- 2. 地域文化活動の活性化／文化団体の育成事業 … P. 9

【3】地域の文化に関する情報の収集及び提供 … P. 12

【4】その他の事業 … P. 12

II. 芸術文化施設の管理運営

【1】宝塚市立文化施設ベガ・ホール管理運営事業 … P. 14

【2】宝塚市立文化施設ソリオホール管理運営事業

【3】宝塚市立宝塚文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）管理運営事業

III. その他の事業

【1】文化財団「友の会」 … P. 15

【2】その他

平成28年度基本方針

当財団は、本年3月に第2次中期振興ビジョンを策定した。同ビジョンは、平成28年度を初年度とする5カ年の取組みを示したものであり、今後、当財団が進むべき方向性についての羅針盤となるためのものである。

策定にあたっては、第1次中期振興ビジョン(平成22年度から平成26年度)の達成状況等を検証するとともに、財団を取り巻く環境の変化に対して的確に対応すべく、財団職員自らが策定作業に関わった。

同ビジョンでは、第1次中期振興ビジョンで基本方針とした、3つの間づくり「人づくり(人間・仲間)」「機会づくり(時間)」「場づくり(空間)」を引き継ぎ、事業推進コンセプトとして位置づけ、事業の具現化を図っていくものである。

今年度の主な取組みとして、次代へつなぐをキーワードに、財団自身が十分に取組みできていなかった未就学児を含むあらゆる世代が文化芸術活動に触れることのできる事業を始め、学校・病院・福祉施設等へのアウトリーチ活動の拡充や3施設(ベガ・ホール、ソリオホール、文化創造館)周辺の地域・団体等との連携を密にした事業をより一層推進し、公益財団法人として地域に密着した事業運営を推進していく。更に、利用者等からのニーズ把握については、アンケートや顔の見える情報発信に努めるとともにICTを活かした情報提供に取り組んでいく。

なお、今年度の重点方針は次のとおりである。

○平成28年度事業重点方針

- (1) 幅広い世代との場づくり
- (2) 3館の特徴をいかした活用と協働による街のにぎわいづくり
- (3) 想いを伝える情報力の強化

○具体的な取り組み内容

●アウトリーチ事業の拡大

これまでに地域のアーティストの協力を得て、学校、病院、福祉施設などへ様々なアウトリーチ事業を行ってきた。今年度はさらに、開催回数や場所を拡大し、クラシック、ジャズ、打楽器、落語等の多様なジャンルにより、多くの方々に文化芸術の感動を伝えていく。

●未就学児を含めた子どもや子育て世代へのアプローチ

昨年度に引き続きベガ・ホールや文化創造館隣接のさくら橋公園を活用し、小さい子どもから大人までが参加できるコンサートや体験型事業に力を入れ、子育て世代への取り組みを行っていく。今年度は実施場所や回数を増やし、あらゆる世代が文化芸術と触れることのできる機会を創出する。また、こども落語教室やこどもいけばな教室、ベガ ジュニア アンサンブル、劇団BIGMOUSEなど、文化を次世代へつなぐ事業も継続していく。

●地域との協働による街の活性化

文化施設周辺の地域団体、名店会などの協働を進め、相乗効果により街のにぎわいの創出、活性化を図る。また、地域の方々と財団スタッフとの顔の見える関係を作り、情報を共有していく。

●情報力の強化

財団の取り組みや文化情報を知っていただくため、ホームページをさらに分かりやすくするとともに、インターネットでのチケット予約などの利用拡大を目指し、利便性の向上に努める。



学校コンサート(末成小学校)



0歳からのクラシックコンサート

○平成28年度事業概要（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

I. 芸術文化鑑賞事業の開催並びに地域の文化活動の育成等

【1】 芸術文化鑑賞事業の開催

音楽専用ホールのベガ・ホール、多目的ホールであるソリオホール、宝塚音楽学校旧校舎であり、“すみれミュージアム”をそなえた宝塚文化創造館の3拠点を中心に、それぞれの施設の特色を生かした事業を実施していく。事業を実施するにあたり、文化ボランティアの活用や市民の企画参加などの「人づくり」、子育て世代を含めた観客層の拡充など「機会づくり」を進めるほか、芸術文化を楽しむ雰囲気づくりを意識した「場づくり」を行っていく。

1. ベガ・ホール事業

音楽専用ホールのベガ・ホールで開催する事業は、全国発信し高い評価を得ている「宝塚ベガ音楽コンクール」「宝塚国際室内合唱コンクール」の2つのコンクールと、幅広い年齢層が参加できるコンサート、ホール所有のパイプオルガンやチェンバロを活用した取り組みを中心に計画していく。

(1)「第28回宝塚ベガ音楽コンクール(声楽・ピアノ部門)」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)全国各地の若い有能な演奏家の発掘と、「音楽のあるまち“宝塚”」にふさわしい音楽文化の発展向上を目指して開催。市民参加の会場審査員や遠方からの出場者の練習場所として、ピアノを所有している一般家庭を募るなど、市民の協力を得て実施する。

(時期)声楽部門 予選 6/4(土)・5(日) 本選 7/2(土)

ピアノ部門 予選 6/11(土)・12(日) 本選 7/3(日)

(入場料)予選 無料

本選 各日一般1,000円(当日1,500円)、学生券500円(当日同額)

一般通し券1,500円、学生通し券750円(前売のみ)

(コンクール参加料)30,000円

(見込入場者数)予選 のべ600人/本選225人 (見込参加者数)165人(声楽85人/ピアノ80人)



○「宝塚ベガ音楽コンクール 1位入賞記念演奏会 ベガ・ウィナーズコンサート」(関連企画)

(概要)第28回宝塚ベガ音楽コンクールの、声楽・ピアノ部門の1位入賞者による記念コンサート。1位入賞者を市民に広く紹介し、若い演奏家の今後の演奏活動のステップとなるコンサートとして計画する。

(時期)下半年 (入場料)1,000円(当日1,500円) (見込入場者数)300人

(出演)宝塚ベガ音楽コンクール1位入賞者

○「宝塚ベガ音楽コンクール入賞者の情報収集ならびに活用事業(よりみち音楽会)」(関連企画)

(概要)コンクール入賞者の演奏活動を支援するため、情報収集し紹介する。また、入賞者によるコンサート「よりみち音楽会」を年2回実施し、コンクールの取り組みと入賞者の活動をPRする。

(時期)通年 ○よりみち音楽会開催時期 未定 (見込入場者数)各回100名

(2)「第32回宝塚国際室内合唱コンクール・特別演奏会」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)合唱の原点といえる“少人数による室内合唱”の普及、また、音楽を通じた国際交流の推進に資する目的で、昭和59年から開催している国際的にレベルの高いコンクール。今回はルネサンス・バロック部門、ロマン派部門、

近現代部門、無差別級部門の4部門を実施。海外からは韓国、ラトビア、チェコからの出場が予定されており、コンクールの翌日には海外団体及び上位入賞団体が出演する特別演奏会を開催する。また、TICCウィークと銘打ち、市内各所でのミニコンサートを計画する。(公財)アサヒグループ芸術文化財団へ助成申請中。

(時期)コンクール 7/23(土) 特別演奏会 7/24(日)

(入場料)各日2,500円(当日3,000円)、セット券4,500円

(参加料)予備審査2,000円

コンクール参加20,000円(無差別級10,000円)

(見込入場者数)のべ850人 (見込参加者数)680人



○「TICCウィーク」(関連企画)

「TICC街かどコンサート」

(時期)7/19(火)・21(木)

「TICC 前夜祭」

(時期)7/22(金) (会場)G・コレクション 阪急宝塚前広場

(出演者)宝塚市内の合唱団と TICC に出場する団体



○「発声講習会」(関連企画)

(概要)宝塚国際室内合唱コンクールの浸透と、市内で活動する合唱団のレベルアップのために、わかりやすく実践的なテーマの講習会を実施する。

(日時)6/24(金)14:00 (入場料)500円(当日700円) (見込入場者数)190人

○「コーラスマスタークラス」(関連事業)

(概要)宝塚国際室内合唱コンクールへの出場を目標に、コンクールの各審査部門の理解を深めるために実施する。共催:日本合唱指揮者協会関西支部

(日時)7/21(木)19:00 (入場料)一般2,000円、学生1,000円(当日同額) (見込入場者数)225人

(3)コンサート事業

①「体験しよう!ホールのひびき 発見しよう!音楽のたのしさ~ピアノとパイプオルガンのひみつ~」

(概要)夏休みに開催する、親子を対象とした解説や演奏を交えたワークショップ。ピアノ・パイプオルガンなどの楽器の響きを体験し、市民のホールへの興味や関心を高める機会とする。2回公演。

(日時)8/1(月)①11:00 ②13:30

(入場料)親子券1,000円、一般券700円、学生券500円(当日同額)

(見込入場者数)120人 (出演)野山真希(ピアノ) ほか

②「~マタニティからおとうさん、おかあさんまで~ 0歳からのクラシックコンサート」

(概要)未就学児が入場可能なコンサートを実施することにより、子どもを持つ世代にもクラシックコンサート来場機会を提供する。ホールのパイプオルガンを活用し多彩な曲を演奏、幅広い世代の方に楽しんでいただけるコンサートとする。

(日時)10/1(土)11:00 (見込入場者数)240人

(入場料)高校生以上1,000円(当日1,200円)、3歳以上中学生以下500円(当日700円)

親子券1,200円(当日1,500円) ※3歳未満膝上無料

(出演)須山由梨(ピアノ)、越野保宏(司会) ほか

③「第37回ベガメサイア」

(概要) 公募により結成する合唱団「ベガメサイアを唱う会」が、バロック音楽の演奏に定評のあるテレマン室内オーケストラとの共演でヘンデルの「メサイア」を歌い上げる、ベガ・ホール冬の風物詩といえるコンサート。県民芸術劇場へ助成申請中。

(日時) 12/11(日) 14:00 (入場料) 3,000円(当日3,300円) (見込入場者数) 380人

(出演) 中村健(指揮)、テレマン室内オーケストラ(演奏)、ベガメサイアを唱う会、宝塚少年少女合唱団(合唱) ほか

④その他 ベガ・ホールコンサート

(概要) 国内外のアーティストによる上質な公演を実施し、ベガ・ホールのイメージアップ、ラインナップの充実を図る。また単独主催の他、教育機関、芸術団体、プロモーターなどと協働し、共催、提携公演を行う。

○「県西音楽科現役高校生によるティーンズ・フレッシュ・コンサート」

共催: 県立西宮高等学校音楽科

(時期) 4/7(木)、8/2(火)、8/22(月)、12/20(火)、2/7(火) 全5回開催

(入場料) 無料



○「ベガにオーケストラがやってきた! Vol.7」

共催: 神戸女学院大学音楽学部 (時期) 6/28(火) (入場料) 500円(当日600円)

○「ミドル アーミー バンド チェンバーコンサート 2017」

協力: 陸上自衛隊中部方面音楽隊

(時期) 未定 (入場料) 無料 ※要整理券

(出演) 陸上自衛隊中部方面音楽隊によるアンサンブルメンバー

○(協力公演)「長岡京室内アンサンブル 宝塚公演」

主催: 長岡京室内アンサンブル (時期) 11/3(木・祝) (入場料) 未定

(4)オルガン事業 (宝塚市特別指定管理事業)

「市民のためのオルガンコンサート」

(概要) ベガ・ホールの象徴であるパイプオルガンを活用した事業。気軽にベガ・ホールに足を運んでいただき、オルガン音楽に触れる機会を提供する。6回開催。

(時期) 4/9、6/18、8/13、10/8、12/10、2/11 土曜日開催

(入場料) 500円 (見込入場者数) 各回125人



(5)「いにしえのひびきにのせて チェンバロコンサート」

(概要) ベガ・ホールのロビーでの無料コンサート。出演者と距離の近いなごやかな雰囲気の中で、ホール所有のチェンバロの音色を気軽に楽しんでいただく。ホールを身近に感じることのできるコンサートを目指す。なお、新たな試みとして、4回開催のうち1回はホールで開催し、より多くのお客様に鑑賞いただく。

(時期) 6/14(火)、9/6(火)、12/2(金)、3/7(火) *12月はホール公演

(入場料) 無料、ホール公演: 500円 (見込入場者数) 各回70人、ホール公演: 100人



2. ソリオホール事業

ソリオホールで開催する事業は、日本の伝統芸能を中心とした「舞台公演」や、気軽に楽しめる映画会、心が踊るジャズライブなどを中心に計画している。「気軽」「わかりやすい」「はじめて」などをキーワードに「舞台芸術との最初の出会いの場所」をコンセプトに展開する。

(1) 舞台公演

①「たからづか能」

(概要) 日本の伝統芸能「能楽」を上演し、市民に古典芸能に親しむ機会を提供する。13回目の開催となる今年度は、兵庫県須磨の浦が舞台の能「玄象(げんじょう)」を取り上げる。さらに、公演への理解を深めるため、公演前に関連講座を開催する。

助成: 独立行政法人日本芸術文化振興会(予定)

(日時) 5/7(土) 14:00 (見込入場者数) 270人

(入場料) 一般[指定] 3,500円(当日4,000円)、[自由] 2,800円(当日3,300円)、

特別席 1,500円(当日同額)

(演目) 能「玄象」、狂言「蟹山伏(かにやまぶし)」ほか

(出演) 梅猶会(梅若猶義ほか)、大蔵流狂言善竹会(善竹隆司ほか)

○講座「能『玄象』のモデル 藤原師長の音楽人生」(関連企画)

(日時) 4/16(土) 14:00 (参加料) 1,000円

(見込参加者数) 60人

(講師) 田鍬智志(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授)



②「宝塚ソリオ寄席」

(概要) ソリオホールの恒例イベントとして定着した米朝一門5名による上方落語の寄席。日本の話芸である落語を生で楽しめる機会を身近なホールで提供する。

(日時) 2/24(金) 18:30 (入場料) 2,500円(当日3,000円) (見込入場者数) 300人

(2)「シネマ イン ソリオ」

(概要) 気軽にソリオホールに足を運んでもらうきっかけづくりとして映画会を実施。第3木曜日を基本に、邦画と洋画を定例的に実施することにより、ソリオホールのラインナップの充実を図る。(6回開催のうち邦画を3回、洋画を3回上映する。)

(時期) 4/21、6/16、7/28、10/6、12/15、2/16 木曜日開催

(入場料) 一般800円(当日1,000円)、2回セット券1,200円(前売のみ)

(見込入場者数) 年間 3,000人

(上映予定)「あん」(邦画)、「愛を積むひと」(邦画) ほか

(3)「ライブ イン ソリオ! JAZZ」

(概要) ライブハウス形式のレイアウトが可能なソリオホールの特徴を活かしたライブ事業。気軽にジャズを楽しむ機会を提供する。昼夜2回公演の実施。

(日時) 10/21(金) ①14:30 ②18:30

(入場料) 1,500円(当日2,000円) *ワンドリンク付き

(見込入場者数) 250人 (出演) 中島教秀(ベース) ほか



(4) その他の提携/共催公演

①「第10回宝塚パリ祭『世界はいつも恋してる』」

(概要)宝塚歌劇『モン・パリ』の初演が日本のシャンソンの始まりであることにちなんで、宝塚ならではのシャンソンコンサート。共催:宝塚シャンソン化計画
(時期)7/30(土)・31(日) (入場料)2,500円(当日3,000円) (見込入場者数)各日270人

②人形劇団京芸「火よう日のごちそうはひきがえる」

(概要)京都を拠点に活動し、関西を代表する老舗人形劇団の大好評ロングラン作品公演。原作はラッセル・E・エリクソン『火よう日のごちそうはひきがえる』(評論社)。共催:人形劇団京芸関西
(時期)12/23(金・祝) (入場料)未定 (見込入場者数)200人



③「みんな元気になろうびっくり箱 part.7」

(概要)3.11東日本大震災チャリティ公演として関西のプロの舞台芸術創造団体と共に行う演劇祭。地域と共に、子どもたちが演劇と出会う機会をつくるため、実行委員会形式で開催。構成団体:全国児童・青少年演劇協議会・関西ブロック、宝塚ふぁみりい劇場、(認定)宝塚NPOセンター
(時期)3/5(日) (入場料)未定 (見込入場者数)500人

3. 宝塚文化創造館事業

宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)では、「歌劇の学び舎」として宝塚歌劇にまつわるイベントの他、新しい文化スポットとして地域と協働し、館前の公園を活用しつつ、ガーデンフィールズ跡地へのアプローチを考慮しながら、「文化の創造」にふさわしい企画を展開していく。

(1) 講堂ホールイベント

①「タカラヅカ・ノスタルジックコンサート」

(概要)すみれミュージアムとの連携イベント。宝塚歌劇団OGによる、宝塚歌劇のテーマ曲や懐かしの歌謡曲をトークとともにお届けするコンサート。2回開催。なお、7月の公演は開館5周年記念として開催する。
(日時)7/17(日)①13:30 ②16:30、2/19(日)14:00
(入場料)一般3,500円(当日4,000円)、高校生以下1,750円
(見込入場者数)各回160人
(構成・演出)岡田敬二(演出家・文化創造館名誉館長、財団副理事長)



②「宝塚歌劇シンポジウム タカラヅカトーク&ライブ『ロマンチックレビューの世界』」

(概要)すみれミュージアムとの連携イベント。宝塚歌劇団の演出家及び作曲家、ならびに歌劇団のトップOGによるトークと、ミニコンサート上演。
(日時)10/9(日)14:00 (入場料)一般3,500円(当日4,000円)、高校生以下1,750円
(見込入場者数)160人 (出演)岡田敬二、平みち(元宝塚歌劇団トップスター)

③「元気な長寿の仲間たち展 Vol.VI」

(概要)宝塚市展に出展した80歳以上を対象にした展覧会。敬老の日を含めた期間に開催する。

(時期)9/15(木)～19(月・祝) (入場料)無料

(見込入場者数)300人 (見込出展者数)30名 (見込出品数)50点

④「ハートフル避難訓練コンサート」

(概要)地元自治会との合同避難訓練とコンサートを連動させ、地域の防災意識を高めるイベントを開催。地元演奏団体によるコンサートと、消防署による防災知識のレクチャー及び、花のみち・さくら橋公園を使った避難訓練を実施する。

(時期)10/2(日)予定 (入場料)無料 (見込入場者数)100人



⑤「活弁映画へようこそ！」

(概要)昭和初期の名作の無声映画を、現役活弁士の井上陽一さんによる活弁と解説を交えて上映する。

(日時)5/29(日)14:00 (入場料)800円(当日1,000円) (見込入場者数)80人

(上映作品)「伊豆の踊子」

⑥ワークショップ事業

(概要)文化創造館の講堂・バレエ教室・日舞教室を利用した舞台芸術ワークショップを実施する。舞台上のプレイヤーのノウハウ(ダンス・舞台メイク等)からバックステージのノウハウ(大道具・音響・照明等)まで、幅広く舞台芸術に触れてもらう機会を提供する。

(時期)通年 (参加料)500～2,000円 (見込参加者数)220人

拡充

⑦「宝塚あおぞらげきじょう」

(概要)宝塚文化創造館と隣接する「花のみち・さくら橋公園」を活用し、子どもたちが音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化とライブで出会う機会を提供する。世界共通の子ども通貨「カエルポイント」を使っていらなくなったおもちゃを交換する「かえっこバザール」も開催。ホール等へ足を運ぶきっかけづくりと地域の交流を図る。奇数月第2土曜日開催(3月を除く)。宝塚市花のみち自治会・子ども会、(認定)宝塚NPOセンター等と協働で実施。

(時期)5/14、7/9、9/10、11/12、1/14

(入場料)無料 (見込入場者数)のべ1,000人



⑧「みんなでイベント体験！イベントを創ろう」

(概要)文化創造館で開催されているワークショップ及び長寿展を中心に、協働で企画運営し市民がイベント作りを体験できる仕組みを作る。

(時期)未定 (参加料)無料 (見込参加者数)5人

(2) 2階展示室 すみれミュージアム 企画展

(概要)歌劇の学び舎「宝塚音楽学校」と宝塚歌劇のミュージアム。宝塚音楽学校での予科生・本科生の2年間を追った写真や、授業で使用された教材の展示、普段見られない実際の授業風景などを映像で紹介する。

また、舞台やテレビで活躍中の歌劇団OGの卒業写真を見ることができ、宝友会等のOG会との連携により、開館時にはなかった期の写真も集まるなど充実してきている。

企画展映像スペースでは120インチのスクリーンで歌劇に纏わる貴重な映像を見ることができるほか、企画にあわせた品々を展示する。また季節毎にキャンペーンを展開する。また、ミュージアムグッズとして作成した薔薇タオルハンカチを引き続き販売し、ミュージアムのイメージと知名度アップに役立てる。

(開館)通年 10:00～16:30 水曜休館
(入場料)一般300円、中高生200円、小人100円
(見込入場者数)10,000人/年
(企画展)4月14日～「宝塚歌劇音楽祭～思い出の名曲集2」



○3館共通券「宝塚花のみち夢みるパス」の販売

(時期)平成28年4月～29年3月
昨年度に引き続き、「宝塚歌劇の殿堂」、「手塚治虫記念館」、「すみれミュージアム」3館に全て入館できる共通チケットを作成、1,000円で販売する。
(一般料金は殿堂が500円、記念館700円)。相乗効果を図り、宝塚花のみちを活性化させる取り組みとして実施する。

【2】 地域の芸術文化活動の育成等

市民の日頃の文化活動の成果を披露できる「ハレの場」をより楽しいものになるよう演出・企画する。特に子ども達が芸術文化に参加できる機会を提供することを重点的に行う。文化芸術団体に対して、平成22年度発足した「宝塚市文化団体連絡会」への参加を促し、横断的な連携がとれる組織づくりを目指していく。

1. 地域文化活動の発表、交流の場提供事業

(1)「第50回宝塚市民合唱祭」

(概要)市内で活動する合唱団に発表の場を提供するとともに、合唱を通じての市民交流を図るため開催。出演合唱団の増加に伴い、2日に渡って開催。宝塚合唱連盟と共催。
(時期)11/5(土)・6(日) (会場)ベガ・ホール
(入場料)500円(当日同額)
(見込入場者数)のべ1,300人 (見込出場団体数)40団体



(2)「第32回宝塚伝統芸能フェスティバル」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)伝統芸能を愛好する市民が一堂に会して日頃の研鑽・練習の成果を発表、交流を図ると共に、伝統芸能の継承発展を図る。宝塚伝統芸能フェスティバル実行委員会と共催。
(時期)5/22(日) (会場)ソリオホール (入場料)無料
(見込入場者数)のべ1,500人



○「宝塚こどもいけばな教室」(関連企画)

(概要)子ども達がいけばなを通じて、和文化に対する理解を深めることを目的として実施。伝統芸能フェスティバルに出品し成果を発表する。全10回実施予定。
(時期)3/5～5/22 (会場)ソリオカルチャーほか
(参加料)15,000円(全10回・花材費込み)
(見込参加者数)16人 (参加対象)小学2年生～中学3年生
(講師)吉野青薔(草月流、宝塚いけばな協会会長)

(3)「第60回宝塚市展」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 日頃から芸術を愛好し、創作活動に励んでいる人々の作品を公募し、活動の成果発表を通じて市民文化活動の奨励となることを目的に開催。洋画、彫刻・立体造形、写真、デザイン、書、工芸、日本画の計7部門で実施。一般公募の作品のうち入賞・入選作品を展示する。

(時期) 作品受付: 1/13(金)・14(土)、審査: 15(日)

会期: 1/20(金)～24(火)

(会場) ソリオホール (出品料) 1部門1,500円 (見込出品者数) 580人

(入場料) 無料 (見込入場者数) のべ3,000人



(4)「第27回宝塚芸術展」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要) 市民の芸術に対する関心を高め、その質的向上を図るため宝塚市文化連盟会員作家の作品を展示。宝塚市展と同じ7部門で開催。宝塚市展と同時開催することにより相乗効果を図る。

(時期) 1/20(金)～24(火) (会場) 国際・文化センター

(入場料) 無料 (見込入場者数) のべ900人



2. 地域文化活動の活性化／文化団体の育成事業

(1)「第8回宝塚学検定」

(概要) 宝塚のまちの魅力を再発見し、故郷に対する理解や関心を深めてもらうことを目的として実施。関連企画として、前年度合格者の集いや試験講座、まち歩きを実施する。また、団体受検への参加や関連企画の共催など、検定を通じて地域の団体とも協力関係を強めている。

(時期) 3/20(月・祝) (会場) ソリオホール

(受検料) 一般3,000円、学生500円 (見込受検者数) 235人

(合格基準) 初・中級は70点以上、上級80点以上、博士85点以上(満点は100点)

合格者には認定証とピンバッジを進呈。小学生は50点以上、中学生は60点以上で「奨励賞」を授与。



○「合格者の集い」(関連企画)

(時期) 4/23(土) (会場) 宝塚文化創造館 (参加料) 2,000円 (見込参加者数) 50人

○宝塚学検定セミナー「試験講座」(関連企画)

(時期) 未定 2回実施予定 (会場) ソリオホール ほか

(参加料) 500円 (見込参加者数) 各回90人

○宝塚学検定セミナー「まち歩き」(関連企画)

実際に宝塚の地を歩き、理解を深めるとともに検定の得点アップや受検者増を目指す。

(時期) 未定 3回実施予定 (場所) 未定

(参加料) 500円

(見込参加者数) 各回70人



(2)宝塚市文化団体連絡会共同開催事業

(概要)宝塚市内の文化団体による連絡会。団体同士の情報交換、つながりを強め、市文化政策への提言力を強める。また、加盟団体が協力して子どもを対象とした芸術文化の体験事業を開催するなど、さらなる地域文化の活性化と交流を図る。(活動時期)通年

(加盟団体)12団体 ※平成28年2月末現在

宝塚合唱連盟、宝塚いけばな協会、宝塚演奏家連盟、宝塚書道協会、宝塚美術協会、宝塚市手工芸協会、宝塚茶道協会、宝塚三曲協会、宝塚デザイン協会、宝塚日本画協会、宝塚写真協会、宝塚市民謡民舞連合会

○共同開催事業「第5回わくわく！そうぞう！たからんまつり」

子どもたちが楽しく芸術に触れられるワークショップやコンサート、デモンストラーションを、加盟団体の会員が講師・出演者となって開催。合唱や書道など異なったジャンルのコラボレーション事業も行う。

(時期)3月予定 (会場)宝塚文化創造館、花のみち・さくら橋公園

(参加料)無料～500円程度 (ワークショップ見込参加者数)150人

(見込来場者数)1,000人



(3)宝塚アーティストバンク

(概要)宝塚市内や近隣地域において様々な分野で活躍するアーティストを市民に広く紹介するため、アーティストの情報を集める。その人材を活かし、市民が身近に公演活動や技術活動に出会う機会を提供する。また、文化施設の外でも市民や子どもが気軽に芸術文化に触れる機会を作っていく。

拡充

○「学校コンサート」

市内の小学校を対象に、身近な音楽室や体育館でアンサンブル等の生の演奏を聴いたり、楽器を触ったりする企画を提供する。昨年度には長尾台小学校を始めとした9校で開催したが、今年度は開催枠を12校まで拡大する。学校との連携をさらに強化して実施希望校を募り、未来の宝塚の音楽文化をになう子どもたちに音楽の楽しさや演奏の喜びが体感できる機会をつくる。

また、学校との連携を図るため、音楽教諭を対象としたアウトリーチ研修会を実施する。

(時期)未定 (見込実施学校数)12校 (見込み参加者数)各回150人

○「福祉施設等コンサート」

市内保健医療福祉施設を対象にした出張コンサートを開催する。

(時期)未定 (見込実施施設数)3施設 (見込参加者数)各回80人

○「市民コンサート」

宝塚市役所の市民ホールでコンサートを実施する。

(時期)4/1(金) (見込入場者数)100人 (出演)蔭山晶子(クラリネット) ほか



(4)「宝塚子ども落語教室(宝塚コドモラクゴる)&落語公演」

(概要)落語をきっかけに和文化に対する理解を深めることを目的として実施。今回で10年目。最終回にはソリオホールで舞台発表を実施。発表会同日に講師を中心とした落語会も実施。

(時期)7月～8月 全7回

(会場)ソリオカルチャー及びソリオホール(発表会)

(参加対象)小学3年生～小学6年生

(参加料)10,000円(発表会含む 全7回分) (見込参加者数)6人

(講師)林家染左、笑福亭智之介 ほか

◇発表会「宝塚コドモラクゴる」

(時期)8/20(土) (入場料)無料 (見込入場者数)のべ140人



○落語公演「ソリオ夏の落語会」(関連企画)

(時期)8/20(土) (会場)ソリオホール

(入場料)一般1,500円(当日2,000円)、高校生以下800円(当日同額)

(見込入場者数)140人 (出演)林家染左、笑福亭智之介 ほか

○「らくごと紙芝居」(関連企画)

(時期)8/4(木) (会場)ソリオカルチャー (入場料)無料 (見込入場者数)80人 (出演)林家染左

○学校アウトリーチ活動「林家染左の出前落語」(関連企画)

(時期)未定 (出演)林家染左

○宝塚こども落語くらぶ (関連事業)

宝塚こども落語教室の卒業生を対象とした団体。年2回の発表会を中心に活動。

(練習日)第2土曜日 (会場)ソリオカルチャーほか

(5)「ベガ ジュニア アンサンブル」

(概要)子どもたちに演奏する楽しさや、合奏による協調性を育む目的で創設した弦楽アンサンブル。平成29年3月に10回目となる演奏会を予定。

(時期)通年 (会場)ベガ・ホール ほか

(参加料)6,000円/月 (見込参加者数)16人

○定期演奏会

(時期)3/19(日) (会場)ベガ・ホール

(入場料)500円(当日700円) (見込入場者数)390人



(6)「劇団BIGMOUSE」(宝塚市特別指定管理事業)

(概要)市民に演劇活動を通して、表現する楽しさや達成感を知ってもらうとともに、世代を越えて1つの舞台を作り上げることを目的として9月に公演を開催する。また、地域貢献として病院、老人ホーム等へのアウトリーチを行うなど、新たな取り組みを進める。

(時期)通年 稽古月2回日曜日 (会場)ソリオカルチャー ほか

(参加料)高校生以下500円/月、大学生以上1,500円/月 (見込参加者数)18人

○劇団BIGMOUSE公演「わたしの名は…清子… ～誤診から生まれた看護師・井深八重の生涯～」

(時期)9/19(月・祝) 2回公演 (会場)ソリオホール

(入場料)1,800円(当日2,200円) (見込入場者数)各回225人

○アウトリーチ活動

(時期)未定 (場所)病院、老人ホーム等 (回数)3回予定



【3】地域の文化に関する情報の収集及び提供

①宝塚地域の文化情報ポータルサイトの構築

地域文化情報を収集・整理し、広く提供する。財団事業の情報をよりわかりやすく紹介するため、ホームページのデザイン更新を行う。

※「ウェブサイト」の概要

サイト名:宝塚クリップ(宝塚イベント情報) URL:<http://t-clip.info/>

サイト名:宝塚市文化財団 URL:<http://takarazuka-c.jp/>



②文化財団 NEWS! (ブログ)の実施

財団ホームページにてイベントの開催情報、最新情報を随時アップする。

③メールマガジンの定期的送信

財団事業に関する情報を、より多くの市民に提供していくため月1回の配信を実施。オンライン会員、事業に会場された方のうちメール配信に同意された方、職員が名刺交換した方に送信。チケット発売情報と近々開催するイベントを案内する。

④地域文化情報誌「ウイズたからづか」への掲載

・財団事業を中心とする各種文化行事に関する情報を、より多くの市民に提供していくため、情報誌「ウイズたからづか」(毎月15日・25,000部発行)誌面への掲載を行う。

・イベントの出演者、関係者にスポットを当てたインタビューコーナー

「宝塚トーククリップ」を掲載



⑤イベントラインナップの市内各戸配布

財団の取り組みや自主事業に関する年間情報、文化施設の情報を市民に提供するため、「宝塚市文化財団イベントラインナップ」を作成。(A4・8ページ・十文字折)

年2回作成し、今年度は年1回(3月末)に市内の全戸(104,000世帯)に配布するとともに、自主事業の来場者にも配布する。

(イベントラインナップ作成部数)3月末:120,000部、9月末:15,000部

⑥アンケートによるモニタリング

事業実施時に来場者アンケートを挟み込み、満足度やニーズ等の把握につとめる。

【4】その他の事業

(1)文化体験事業「たからづかカルチャー“プラス”」

(概要)「宝塚で豊かに暮らす・楽しむ」ことをキーワードに、体験型の講座を多く実施することで新たな客層を呼び込み、宝塚駅前のソリオの活性化をはかる。

(時期)通年

(会場)ソリオカルチャーほか (受講料)講座毎に決定

(講座数)半期各10講座程度

(見込受講者数)半期160人

(講座内容)ヴァイオリン、太極拳、ノルディックウォーキングほか



(2)文化団体の育成支援（宝塚市特別指定管理事業）

（概要）音楽及び舞台芸術の普及・振興と当該分野の裾野拡大を目的として、次の3団体の育成を図る。

それぞれ定期演奏会、ファミリーコンサートなどを実施する。

- ①宝塚市交響楽団（練習日）土曜日（場所）ベガ・ホール
- ②宝塚市吹奏楽団（練習日）土曜日（場所）東公民館
- ③宝塚少年少女合唱団（練習日）日曜日（場所）西公民館



(3)市民、文化団体との協働事業

①「第4回歌劇の街 パセリ・ファミリーコンサート」

（概要）子どもたちが街に根付く歌劇文化に触れることで、豊かな感性を育む機会とする。共催：パセリくらぶ
（日時）4/29(金・祝)14:00（会場）文化創造館（入場料）一般1,500円、子ども500円

②「第50回合唱交歓会」

（概要）宝塚合唱連盟加盟団体が日頃の練習の成果を発表すると共に、合唱を通じた市民交流を目的として開催。共催：宝塚合唱連盟
（時期）7/17(日)（会場）ベガ・ホール（入場料）無料

③「第15回宝塚ベガ学生ピアノコンクール」

（概要）ベガ音楽コンクールの年齢要件から外れている未就学児や小学生、中学生の部門も備えたピアノコンクール。宝塚演奏家連盟の結成20周年事業として平成14年に創設以後毎年実施され、今年度15回目。部門ごとに1位～3位を選出し、表彰状と賞品を贈呈する。共催：宝塚演奏家連盟
（時期）予選 8/8(月)・9(火) 本選 10/2(日)（会場）ベガ・ホール（入場料）無料

④「宝塚いけばな展」

（概要）宝塚いけばな協会の会員による展覧会。わが国を代表する伝統文化の一つであるいけばなの普及振興を図るとともに、広く市民に鑑賞の機会を提供する。共催：宝塚いけばな協会
（時期）2/4(土)・5(日)（会場）ソリオホール（入場料）無料

⑤「第20回宝塚市手工芸公募展」

（概要）宝塚市手工芸協会による公募展。手工芸の普及振興を図るとともに、広く市民に鑑賞の機会を提供する。
共催：宝塚市手工芸協会
（時期）1/28(土)～31(火)
（会場）ソリオホール（入場料）無料

⑥「第17回宝塚映画祭」

（概要）かつて映画撮影所があった宝塚の映画文化の再生と創造を目指して開催。
市民の映画愛好者等で組織する宝塚映画祭実行委員会と共催。
（時期・会場）未定

II. 芸術文化施設の管理運営

下記施設の指定管理者として管理運営事業を実施する。

(指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)

ベガ・ホール及びソリオホールは開館より長い時間が経っており、施設の老朽化対応やバリアフリー対応が必要となっている。設置者である市と協議しながら、市民の文化資産である両ホールを安全かつ快適な施設として維持管理していく。宝塚文化創造館においては、宝塚音楽学校旧校舎であった事跡的価値や設置目的に添った運営を行っていく。また、これら3施設の連携と特徴にあわせた活用を進めるとともに、施設の利用者アンケートを随時行い市民のニーズに添った運営を行う。

【1】宝塚市立文化施設ベガ・ホール管理運営事業

昭和55年8月開館の音楽専用ホール(座席数372)。舞台正面のパイプオルガン、スタインウェイやベーゼンドルファーなど4台のグランドピアノを備えており、音響の素晴らしさには定評がある。市民による演奏会や、市や財団による主催事業が数多く行なわれ、宝塚の音楽文化の振興・向上の拠点である。

(平成28年度利用率目標) ホール92.0%

〇マイレスタイムの活用

平成21年度に運用を開始したマイレスタイム。ホールの響きを体感していただくため、ホールの空き時間を利用し、1時間単位で練習利用を行うことができる。学生料金を設定し、若手演奏家への支援と将来の貸館利用促進を目的として実施していく。



【2】宝塚市立文化施設ソリオホール管理運営事業

平成5年4月開館。昇降可能な舞台・客席を備えた多目的ホール(座席数約300)と、和室、レッスンルームなど様々な用途の会議室を7つ備える。宝塚駅から近く利便性が高いことから、演劇や音楽演奏会をはじめ、定期的なカルチャー教室など様々な目的に利用されている。

(平成28年度利用率目標) ホール73.5%以上、カルチャー教室83.5%以上



【3】宝塚市立宝塚文化創造館(宝塚音楽学校旧校舎)管理運営事業

昭和10年の建築以来平成10年まで63年の間、宝塚音楽学校として使われてきた建物を保存し、宝塚歌劇に代表されるような舞台芸術を中心とした文化活動の振興・集客に活用するため、宝塚市が設置。1階に講堂ホール(約180席設置可能)、2階に宝塚音楽学校と宝塚歌劇の常設展示室、3階にレッスンルーム(バレエ教室・日舞教室)を2部屋備える。

市民の声を反映し、創造館に相応しい事業を実施するための「事業企画運営委員会」を設置。また、宝塚市内での舞台芸術活動に要する稽古場を提供する「稽古場支援事業」を行い、さらなる活性化を図る。

(平成28年度利用率目標) ホール50.0%以上、レッスンルーム81.0%以上



※利用率=(使用日数÷使用可能日数)×100

Ⅲ. その他の事業

【1】文化財団「友の会」

会員向けインターネット予約・割引購入などの利便性の周知に努め、会員獲得を図るとともに、会員に財団の事業活動に共感し応援してもらえる仕組みづくりについて模索する。

*一般会員 1,192人(平成28年1月末現在)

1. 友の会会費

一般会員 年会費2,000円、賛助会員(法人) 1口10,000円

2. 友の会特典

- ①情報誌(ウイズたからづか)の毎月送付。(賛助会員は5部送付)
- ②文化財団が主催する事業について1人2枚まで優待割引(一般価格の2割引)。賛助会員は1口10枚まで。
- ③友の会先行予約日の設定。(インターネット及び電話によるチケット予約・販売)
- ④協力店舗や劇場公演の優待。
- ⑤継続入会時に、財団事業で利用できる「友の会会員優待券」の進呈。
- ⑥賛助会員向け 財団事業で利用できる「友の会会員優待券」の進呈(1口につき3,000円相当)。
- ⑦賛助会員向け 財団への支援者としてチラシ等に名前を記載。



【2】その他

(1)市民ボランティア団体 Face to Face との連携

平成20年に、コンサート等イベントに関わりたい市民が中心になって立ち上げたボランティア団体「Face to Face (FTF)」。

結成以来、財団主催イベントの受付や場内案内スタッフ、アナウンス等で協力していただき、来場者の目線によるきめ細やかな気配りや対応で来場者からも好評であり、ホールのイメージアップにつながっている。

また、財団職員との連絡会や研修会を定期的実施して、事業への意見や提案を出していただき、意思の疎通を図るとともに、共に接客に対する研鑽を重ねていき、さらに密に連携していく。

(FTFメンバー)24人(平成28年1月末現在)



拡充 (2) 託児サービスの実施

子育て世代の来場を促進するため、平成24年度より実施。未就学児の入場ができない催しにおいてチラシなどに記載し利用者を募る。

(託児利用料)1人あたり1,000円

(利用見込人数)1公演あたり1人、10公演



(3) 財団イメージキャラクター「たからん」の活用

平成24年度に誕生した財団イメージキャラクター「たからん」をチラシやホームページに記載してPRに活用。着ぐるみもイベント会場に数多く登場させて財団のPRを行う。また、財団主催以外のイベントについてもキャラクターイラストや着ぐるみを使用可能にし、より財団の知名度アップを図っていく。

(登場予定事業数)50事業



(4)「U(アンダー)39チケット」の実施

平成27年度より導入した「U39チケット」を引き続き実施。対象は18歳から39歳までとし、財団主催公演のチケットを半額で販売(20席限定・先着順・ネット予約のみ)。仕事や家事・育児で忙しい世代に文化事業への参加を促す。

(U39チケット会員登録者数)117人(平成28年1月末現在)

(5)後援名義の使用許可

地域芸術文化活動の活発な展開を促す一助として、地域の芸術文化団体等からの申請に基づき、その主催する催しに宝塚市文化財団の後援名義使用を承諾し、PR協力等を行う。

(6)文化事業への寄附募集

地域の文化の発展・向上を願う個人や企業からの、使途・目的を明確化した寄附金を募り、文化事業のために使用する。企業からの実績としては平成27年度に三井不動産リアルティ株式会社、株式会社池田泉州銀行、大和証券株式会社から寄附をいただいた。

公益財団法人としてふさわしい公益目的事業の充実のため、今後も財団の事業趣旨に広く理解を求めていく。